

# 団地だより

三島沢地工業団地協同組合

2023  
1月発行  
第53号



## 新年抱負



### 鈴木基良理事長(ドーワテック(株)社長)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス・ロシアのウクライナ侵攻・更に記録的な円安と疲弊した日本経済に追い打ちをかける状況となり、先行きの不透明感が更に増大しました。一方、昨年末サッカーワールドカップで日本選手の活躍が沈滞ムードの日本に明るい話題を提供してくれました。惜しくもベスト8には手が届きませんでした。確実に世界レベルの技術を日本が持った事を世界に示した試合でした。日本人として勇気と希望を与えてもらった気がします。最後まで諦めない気持ちを日本の産業界にも活力として与えてくれた様に感じます。

三島市長選も現職豊岡市長の再選で、新しい景色ではないものの、安定した三島市政を期待したいところです。まだコロナやウクライナ情勢による影響・物価上昇等、今年も厳しい状況は続くと考えられます。慎重に企業活動を進めて頂く様、組合員皆様方のご理解・ご協力をお願い致します。

本年の組合員皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



### 亀谷泰一副理事(カメヤ食品(株)社長)

W杯カタール大会の熱狂冷めやらぬまま新年を迎えました。皆様には謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日常生活の正常化が進むなか、人流の回復に伴い、宿泊・飲食サービスなどが上向きとなり、当社の生業である観光業も明るい兆しが見え始めました。反面、ウクライナ危機により、食材の高騰や資源高による先行きの不透明感が色濃くなりました。予想外の連続で、昨年ではうろたえ続けた一年でもあり、神社にお参りする回数が増えました。

その任寅が明け、今年(みづのとう)。正しく筋を通していけば繁栄するとのこと。兔にあやかり、飛躍の年に！との願いを込めて。

最後になりましたが、三島沢地工業団地の皆様と支えるご家族のご健康とご活躍を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。



### 関本明彦副理事(東海金属工業(株)副社長)

明けましておめでとうございます。

今年(みづのとう)は元旦から天候にも恵まれ良い一年のスタートとなりました。

昨年は三年にも及ぶコロナウイルス感染症の影響に加え、国際情勢の不安定な状況、円安・インフレによる金利上昇、資材不足等々苦労の絶えない一年であったのではないのでしょうか。先行きは依然として不透明ですが、感染対策に留意し、正常な社会生活を送ることができるように期待しています。

卯年は芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは飛び跳ねることから、飛躍するという象徴になります。さらに、たくさんの子を産むことから豊穡、子孫繁栄のシンボルになっています。よりよい年となるよう頑張っていきたいと思います。

卯年が皆様にとって飛躍の年となることを祈念致しまして年頭の挨拶とさせていただきます。



## 沢地にある神社を訪ねてみませんか？

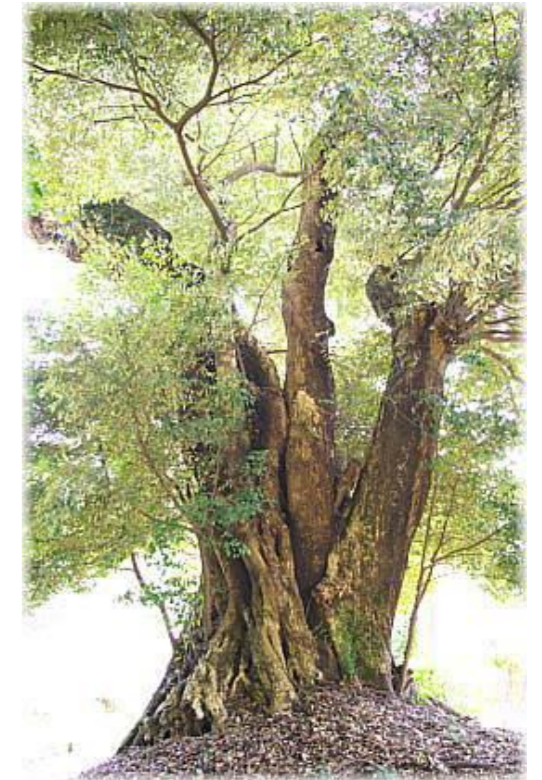
# 駒形神社(こまがたじんじゃ)

## 駒形神社の鎮守の森の木

団地のある三島沢地は箱根西麓から流れる沢地川沿いに開かれた集落です。沢地は古くから箱根神社と繋がりが深く、戦国時代には箱根権現(ごんげん)(江戸時代までの名称)神領の記録が残り、江戸時代まで年貢を納め続けていたそうです。明治以降は毎年各農家から米を集め、御供米(ごくまい)として奉納していました。毎年八月に行われる箱根神社の祭りで、芦ノ湖でお櫃(ひつ)を沈める神事には沢地の米が使用されたと言われます。



沢地の産土(うぶすな)神、駒形神社



駒形神社の参道入口に立つ、樹齢約600年と言われる大木スダジイ

沢地川から幾筋もの用水を引き豊かな水田が広がっていた農村風景は近年の住宅開発で変貌しつつありますが、農村で唯一森を残しているのが氏神様の鎮守の木立だと言えます。

古くから箱根権現領だった豆州沢地村は駒形神社に関する報告も箱根権現の役人に提出することが習わしてました。三役(名主・与頭・百姓代)の治右衛門、源右衛門、七郎左衛門から箱根山大庭庄左衛門に宛てて安永3年(1774)2月に提出された報告書「安永3年の沢地駒形神社の鎮守の森の木数調べ」という古文書には、氏神の森内にあるすべての樹木について、樹種、樹高、太さ(目通りと思われる)が列記され、最後に樹種別の本数と、太さが尺を超えなかった冬木(雑木であろうか)50本余りを記しています。

樹種で多数を占めるのはスギで77本、次いでマツが10本です。スギ、マツのように建築材として利用価値のある樹木は、神社の改築などの場合を想定して村人が植林したものだろうと考えられます。興味深いのは雑木に類する樹木で、ミズクサ、モチノキ、ムクノキ、ツバキ、ケンブンナシ、コガ、サカキ、コナラ、アテビ、サクラなどです。

四季折々の美しい森の景観を作り出した雑木群や、名前も聞いたことのない樹木が沢地村鎮守の森の社を守っていたのでしょうか。

2023  
JAN

53号

団地だより

三島市平成台2番地  
三島沢地工業団地協同組合  
事務局発行

組合では切手・印紙を販売しています  
一枚からご利用いただけます  
(シール切手は10枚単位)

切手: 2円・10円・84円・84円シール(10枚単位)  
94円・100円・120円・140円・210円・320円  
500円

印紙: 200円・400円・500円・600円・1000円  
2000円・4000円・5000円・6000円・1万円  
2万円・4万円・6万円



# 1. エコアクション21

電気主任 渡辺 操

## 1.1 活動結果 (抜粋)

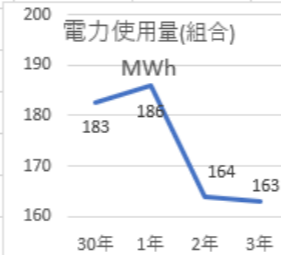
### 7. 環境経営目標・計画の結果の評価、次年度の計画



#### ③ 環境実績トレンド (平成30年4月から令和4年3月)

電気使用量は、企業は増・組合は横ばい。

CO2 換算係数		0.455	0.441	0.441	0.441
項目	単位	30年	1年	2年	3年
電力使用量(団地)	Mwh	10,672	10,214	9,706	10,169
電力使用量(組合)	Mwh	183	186	164	163
二酸化炭素排出量(団地)	t-CO2	4,856	4,504	4,280	4,485
二酸化炭素排出量(組合)	t-CO2	83	82	72	72
一般廃棄物(団地)	トン	21.6	21.1	19.8	19.8
水使用量(団地)	Km <sup>3</sup>	104	106	98	94



## 1.2 更新審査(3)結果

推奨事項として次の2件を言われました。

- ①外部コミュニケーションの多様な実施
- ②緊急事態へ新たな視点での取り組み検討して、来期の計画に反映させていきます。

## 2. 電気関係

コロナ・インフルエンザ対応のため、本年度は「電気取扱者連絡会」を実施いたしません。実施した事項、来年度の予定をお知らせします。

### 2.1 実施(点検/工事)

月日	分野	タイトル / (実施機関)	概要
2022 4/2、3、10	設備保全	受電設備 年次点検 東京電気管理技術者協会13名	電気事業法 高圧設備1年に1回以上の停電点検 機器の経年変化、動作試験、他
2022 3/20、4/3 4/10、4/24	設備工事	Cabinet改造 推奨数経過機器・故障機器の更新 組合・興栄電気・米澤電設・サトーテクノ	各CABnet内LBS交換、地絡継電器の設置 該当箇所は、事前に連絡・見積もりをしています。

### 2.2 予定(点検/工事、教育訓練)

月日	分野	タイトル / (実施機関)	概要
2023 4/2、9、10	設備保全	受電設備 年次及び精密点検 東京電気管理技術者協会13名	電気事業法 高圧設備1年に1回以上の停電点検 機器の経年変化、変圧器絶縁油の性能試験、他
2023 4/9	設備工事	推奨数経過機器・故障機器の更新 組合・興栄電気・サトーテクノ	該当箇所は、事前に連絡・見積もりをしています。
2023 5月 未定	安全/電気	特別講習「低圧電気取扱」 講師 東京電気管理技術者協会(木村・金指) 東電PG	労働安全衛生法 規則36条4
2023 6月 未定	BCP	大規模地震後復電操作訓練 講師 東京電気管理技術者協会(木村・金指)	(未使用配線の停電確認後) QB内低圧NFBの操作

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年を振り返りますと、長引くコロナ禍に加え、2月にはロシアのウクライナ侵攻、7月には安倍晋三元首相の銃撃事件といった衝撃的なニュースが駆け巡り、まさに先の見通せない波乱に満ちた一年になりました。経済面でも、サプライチェーンの混乱から輸入材を中心に直面していた調達難や価格高騰に、急激な円安が追い打ちをかけたことで、企業収益や家計が圧迫され、景気回復に向けては力強さに欠ける展開が続きました。

過去の卯年を振り返ると1975年(昭和50年)ベトナム戦争が終結し、1987年(昭和62年)米ソで中距離核戦力全廃条約が調印されるなど、世界平和への期待が膨らみました。一方で、1999年(平成11年)茨城県東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故が発生、さらに2011年(平成23年)には東日本大震災が空前の被害をもたらし、とくに福島第一原発の重大事故は原子力発電の安全神話が崩壊し、国内のみならず世界各国のエネルギー政策に大きな影響を与えました。同年、中東諸国などにおける「アラブの春」はその後、多くの国々で混乱が泥沼化しました。

今年は「癸(みずのと)卯(う)」の卯です。「癸(みずのと)」は「種子の中で新しい生命が育ち、その大きさが測れるほど成長した状態」を指し、「卯(う)」は「茎や葉が大きく育っていく状態」を表しています。環境変化の激しい昨今ですが、2023年(令和5年)は、成長に向かう明るい希望の感じられる一年になることを祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。(事務局長)

## 沢地町内会との情報交換会開催



コロナ禍により2ヶ年中止となっていた沢地町内会との情報交換会を11月25日(金)四季酒菜「風土」にて開催いたしました。沢地町内会からは外岡町内会長、神山副会長をお迎えしました。二年間のブランクもあり、町内会・組合ともに一部役員に交代がありましたが、環境問題(河川、不法投棄、車両騒音等)に高い関心を持たれていることが分かり、今後の課題も見えてくる有意義な意見交換会となりました。



## 今年度の専用水道立入検査終了しました

三島市内には専用水道施設を設置している事業所が沢地工業団地のほか12事業所あります。専用水道は飲料水や食品加工等で使用しているため行政(三島市)、町村の場合は静岡県(東部健康福祉センター)による年1回の施設立入検査が実施されます。検査では、運用面(水質、水質検査計画、業務委託機関等)が適正に行われているかが問われます。今回(12月1日)の立入検査結果も及第点をいただきました。組合員の皆様には安心して水道水をご使用いただけます。引き続き水道事業へのご理解とご協力をお願いいたします。



## 第三駐車場舗装工事完了

団地の給水施設に隣接する第三駐車場は、未舗装で、春から秋の間、雑草の繁茂により利便性にも欠ける状態でした。利用率も低下していましたが、12月1日~6日にかけて舗装工事を実施し、新たな駐車場(7台)となりました。

整備により勾配も抑えられ使いやすくなり、利便性の向上につながったものと思います。